

令和8年度（2026年度）特別支援教育ICT活用研修 第2回実施要項

1 目的

特別支援学校の教職員を対象に、一人一台端末を活用した授業実践及び生成AIの活用に関する理解を深め、授業改善や校務における具体的な実践を共有・協議・交流することを通して、児童生徒一人一人の学びを支える効果的な指導及び支援につなげる。

2 主催

北海道立特別支援教育センター

3 方法及び会場

ハイフレックス形式（集合会場、配信会場：北海道立特別支援教育センター）

※「集合形式による受講」「遠隔形式による受講」のいずれかを選択することができます。

4 参加対象

各道立特別支援学校教職員（寄宿舍指導員、実習助手を含む）

5 定員

- ・集合形式・・・70名
- ・遠隔形式・・・70名

6 日程及び内容

【令和8年9月18日（金）】9時20分～12時00分

9:00	9:20	9:30	11:30	11:55	12:00
受付	開会・オリエンテーション	【講義・演習】 特別支援教育におけるデジタル学習基盤を活用した授業実践 帝京大学教授 金 森 克 浩 氏 (120分)	【質疑応答・交流・まとめ】 自校での一人一台端末を活用した授業実践について 特セン所員 (25分)	閉会	
			(集合形式) 講師への質疑、応答 (遠隔形式) グループでの交流		

7 申込み

(1) 申込方法

参加希望の方は、特センWebページから直接お申し込みください。右の二次元コードをデータ上でクリック又は読み込むと、Webページにアクセスできます。



申込みはこちらから

(2) 申込受付期間

7月24日（金）16:00～~~9月4日（金）17:00~~ 9月11日（金）17:00まで延長

8 受講履歴の取扱い

- ・全国教員研修プラットフォーム（Plant）の対象教職員の受講履歴の登録は、当センターが行います。
- ・遠隔形式の「まとめ」において記名式のアンケートを実施し、回答をもって出席を確認できた教員の研修の受講履歴を登録します。
- ・全国教員研修プラットフォーム（Plant）の対象であるか不明な場合は、各所属において御確認ください。

9 受講に当たっての連絡事項

(1) 集合形式（特セン）での受講について

- ・駐車場に限りがあるため、可能な限り公共交通機関を使用してください。なお、移動に掛かる旅費について、特センからの措置はありません。
- ・受講に当たって、端末の持参など事前の準備については、別途お知らせします。

(2) 遠隔形式での受講について

- ・ZoomのIDやパスコード、開催要項、資料等は、申込受付期間終了後に受講者用Webページに掲載し、申込時に入力されたメールアドレスにお知らせします。
- ・ブレイクアウトルームを活用した交流を行いますので、受講者1名ごとに、Web会議システム（Zoom）に対応可能なICT端末を1台用意してください。
- ・受講中は、講師や説明者が、受講者の様子を把握しながら進行するため、カメラ（ビデオ）をオンにしてください。

10 その他

- ・申込完了メールや当センター（tokukyo.12◆pref.hokkaido.lg.jp〔◆は@〕）からのメールが、「迷惑メールフォルダ」などに振り分けされている場合がありますので、御確認をお願いします。
- ・研修当日に欠席する場合は、グループの調整が必要となる場合があるため、必ず当センター(011-612-6327)に連絡してください。